



# 神奈川東ロータリークラブ

## KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

2015-2016年度 第2週報 No. 1891 2015年(平成27年) 7月10日 第1891回 例会記録 7月17日発行

### 本日〈7月17日〉のプログラム

- ◆斉唱 「それこそロータリー」
- ◆献立 イサキのボワレ
- ◆卓話 「新年度挨拶」  
職業奉仕、出席、会報、親睦、雑誌、会員増強

〈〈本日のBGM〉〉  
アルバム「The Best Of EARL KLUGH」より



PHOTO 小池将夫会員

**司会** 小山 市康 副幹事

**点鐘** 江森 国一 会長

**斉唱** 「我等の生業」

**四つのテスト** 山本 芳弘 職業奉仕委員長  
(第1例会のみ)

**ゲスト紹介** 原 祥史 様 (神奈川RC 会長)  
須田 徹也 様 (神奈川RC 幹事)

**ビジター紹介** 神奈川RC 金野 克佐 様  
横浜MM21RC 山田 晃久 様  
横浜本郷RC 臼井 厚之 様

### 特別行事

◆神奈川RC表敬訪問



神奈川RC 会長 原 祥史様、幹事 須田徹也様

2015-2016年度 RI会長 K.R. “ラビ” ラビンドラン



世界へのプレゼントになろう

第2590地区 ガバナー 箕田 敏彦

会 長 江 森 国 一	会 計 渡 邊 淳
会長エレクト 植 田 清 司	副 会 計 白 井 康 夫
副 会 長 矢 野 修 二	S A A 長 井 章
副 会 長 加 藤 仁 昭	副 S A A 白 鳥 厚 夫
幹 事 朝 日 達 夫	副 S A A 澁 谷 高 弘
副 幹 事 小 山 市 康	クラブ会報 田 中 龍 太 郎

**例会日** 毎週金曜日 0:30~1:30 PM (第5金曜日 6:00 PM)  
**例会場** ホテルキャメロットジャパン  
**URL** <http://www.kanagawahigashi.com/>  
**E-mail** kerc@beach.ocn.ne.jp

**事務局** ホテルキャメロットジャパン内  
 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3  
 TEL: 045-314-3900 FAX: 045-314-3555  
**創立記念日** 昭和51年5月29日

## 誕生日祝

岡部雄一郎 会員（7月10日）



神奈川RC 金野克佐様 本日もお世話になります。

横浜MM21RC 山田晃久様 本日、お世話になります。

横浜本郷RC 臼井厚之様 本日は、新年度2回目の例会にお邪魔します。よろしくお祈りします。

江森国一君 神奈川ロータリークラブ 会長 原祥史様、幹事 須田徹也様、ようこそお越し下さいました。

岡部雄一郎君 誕生日プレゼント、ありがとうございます。40代最後の年、気合いを入れて頑張ります。

石川正三君 今日には青少年奉仕委員会の副委員長として、佐藤委員長の代理で今年度計画をご説明致します。ご清聴の程を・・・。

山本 登君 本日、所用にて早退します。

伊東英紀君 江森会長、朝日幹事、一年間よろしくお祈りします。

朝日達夫君 先日は、神奈川ロータリークラブにお邪魔をし、原会長、須田幹事には大変お世話になりました。本日はようこそお出で下さいました。

西山 潔君 ①先日のプログラム委員会参加の皆様、大変お疲れ様でした。ありがとうございます。②伊東さん、山本住職、お疲れ様でした

長井 章君 神奈川RCの原様、須田様、ようこそお出で下さいました。ごゆっくりとお過ごし下さい。

天野公史君 原会長、須田幹事、本日はご苦勞様です。1年間、楽しい年度でありますよう、ご活躍下さい。

茂木知子さん ~テルテル坊主がやってきました~ 久しぶりの晴れ間、洗濯が忙しい日です。ニコニコしたテルテル坊主が請求書を持ってやって来ました。テルテル坊主は赤堀さんです。

白鳥厚夫君 本日から副 Sergeant at Arms の仕事をやらせて頂きます。どうぞよろしくお祈り致します。

## 結婚記念日祝

佐藤 勝彦 会員（7月11日）

## 会長報告

江森 国一 会長

- ・米山奨学会より本日欠席の田口健太郎会員に第2回米山功労者の感謝状が届いておりますのでご報告致します。

## 幹事報告

朝日 達夫 幹事

- ・本日、7月度定例理事会を開催します。

場所 3F ナイト

- ・エクアドルへ留学中の青少年交換学生 伊藤主峰君より、月例レポートが届いておりますので回覧します。なお、伊藤君は一年間の留学を終えて、8月5日に帰国予定となっております。
- ・ロータリー囲碁同好会の案内が来ておりますので回覧します。
- ・先週に引き続き、第13回日韓親善会議の案内を回覧します。

## 出席報告

中野 真理 出席委員長

会員総数	53名	(32+21)名	
出席会員数	42名	(26+16)名	
出席率	87.50%		
ゲスト	2名	ビジター	3名
前回補正後	88.00%	前々回補正後	89.58%

## スマイルボックス

白鳥 厚夫 副SAA

神奈川RC 原 祥史様・須田徹也様 江森会長、朝日幹事、おめでとうございます。40周年という記念年、やりがいのある年で羨ましい限りです。一年頑張らしましょう。

## 新年度挨拶

◆職業分類・会員選考委員会 委員長 天野 公史



本年度、江森会長のテーマであります「みんなでやろうよ、楽しくやろうよ。」を実践出来る新会員を増やせるよう、1年間委員会活動を行って参りたいと思います。

当委員会に対する会長指針は、職業分類表を最新に保つことと、会員候補者の調査結果を理事会に報告することですので、委員会の先輩方のご指導を頂き行います。

具体的にはクラブ定款第8条第1節・第2節及びクラブ細則第10条第2節（b）に従い、順次取り組んで参ります。

本年度も会員の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

#### ◆国際奉仕委員会 委員長 赤堀 和人



本年度、国際奉仕委員会を任されました赤堀です。

創立40周年というクラブにとって大きな節目であり、大きな行事を迎えるにあたり、国際奉仕委員会として、姉妹クラブである台北滬尾RC、友好クラブであるマレーシア ルーヤンRC、また井戸支援事業及び英訳絵本の寄贈などを行っているスリランカの関係者の方々と神奈川東RCの交流を、より深めることが出来ればと考えております。今まで以上の国際交流事業を発展出きるよう、尽力して参ります。

RIのテーマ「世界へのプレゼントになろう。」、江森会長のテーマ「みんなでやろうよ、楽しくやろうよ。」を頭に入れ、国際奉仕委員会として、何が出来るか、何をすべきかをたえず考え活動を進めて参りますので、皆様のご協力のほど宜しくお願い致します。

#### ◆青少年奉仕委員会 副委員長 石川 正三



佐藤委員長が所用で本日、出席できませんので、副委員長の私が代役を務めさせていただきます。

まず、今年度のメンバーは、佐藤・石川の正副委員長に加えて、大ベテランの鴻さん、昨年度の委員長の方添さん、入会2年目に入った加野さんの5人です。

では、今年度の活動計画を日付順にご紹介致します。

青少年交換学生として、昨年、南米エクアドルに派遣された神奈川県総合高校の伊藤君。毎月のように長文のレポートをクラブに送って来てくれています。8月5日、帰国の予定です。レポートでも判るように、現地では様々な人達との交流を深めて大活躍。早々に帰国報告をして貰うつもりです。クラブに顔を見せましたならば、皆で大いにホメてやって頂きたい。

次に、神奈川区の少年少女ソフトボール大会が、今年も8月1日と2日、片倉のうさぎ山公園で男女混成の小学生チーム、11チームが参加して開かれます。今年で66回目とか。ウチのクラブも昭和55年から協賛しておりまして、今年も2万円を寄付致します。佐藤委員長が張り切っておりまして、1日の開会式に参加、場合によっては始球式をしたいような感じでございます。サテ、どうなりますか・・・。

次は、国際奉仕と社会奉仕の委員会との合同になりますが、神奈川県民まつりでの、スリランカ支援の募金活動。今年も10月11日（日）に開かれます。クラブとしては、平成13年以来、今回が15回目。6年前から恒例になりました京都の同志社女子大と光華女子大の学生さんたちも、ピカピカの新入生を加えた二十数名が参加を予定しているそうです。

現地にこれまで寄贈した井戸は何と85本。特に今年にはクラブ創立40周年記念。それにRIの会長に、現地スリランカから初めて、ラビンドランさんが選ばれ、「世界へのプレゼント」を提唱されていますので、私達も一日心地良い汗を流して、現地に多くの井戸をプレゼント出来るようにしたいと考えております。

次に、「ロータリー青少年指導者養成プログラム」（RYLA）が今年度も来年2月20日と21日の2日間、野島（金沢区）の青少年研修センターで開かれます。特に今年度は前会長の山田さんが主催者である地区のRYLA委員長。また、委員として、方添さんも名前を連ねて、山田さんをバックアップする体制になっておりますので、私たち青少年委員も出来る限りの協力をするつもりであります。詳細は、まだ決まっておりますが、会員の皆様の会社から、本プログラムに、社員の方々を出して頂くこともあり得ますので、何分ヨロシクお願い致します。

「識字率向上のためのプロジェクト」。日本の絵本に英訳をつけて、海外の幼稚園などに贈る活動でございますが、京都の学生さん達に加えて、今年もフェリス女学院の生徒さんたちに協力を求めることを考えています。クラブとフェリス女学院の絵本の英訳活動は、10年程前の平成17年12月から始まりました。これまでに140冊の作品を預かり、スリランカをはじめ、ネパール、オーストラリアの子供達に贈られて、大変好評を博しています。この絵本のことにつきましては、来年3月4日開催される、「国際奉仕と青少年奉仕」との共催のクラブフォーラムの時に、これまでの経緯などについて、お話しをする予定です。現在まで、約1000冊の絵本をクラブから海外の幼稚園などに贈っています。

以上が現在までに、ほぼ決まっている今年度の私どもの活動で

ございますが、次の時代を担う青少年への奉仕活動には限りがございます。皆様から様々なご提案や情報を寄せていただき、それを実行に移すことも考えておりますので、何分のご協力をお願い致します。

#### ◆SAA 長井 章



今年度SAAを仰せつかりました長井です。

副SAAにはベテランの澁谷さんと、白鳥さんという頼もしい顔ぶれです。

今年度の活動としては、澁谷さんを中心にして、幕の内弁当一辺倒ではなく、季節感のある皆が楽しみに出来るようなランチを提供して頂きたい、とホテル側と2回ほど話し合いを致しました。

また、白鳥さんを中心にクラブのSAAマニュアルを作成しようということで進めております。本日も例会前に備品のチェックを行いました。

江森会長の今年度のテーマは、『みんなでやろうよ、楽しくやろうよ。』ということですので、各委員会と協力をしてロータリーライフを大いに楽しみたいと思います。

基本的なスタイルは、前年度を踏襲して行きたいと考えております。スマイルレポートは3名で輪番制とします。

テーブルミーティングは、テーブルマスターにより日時及び場所が決定されますが、夜間の開催だけでなく昼間の開催も視野に入れて検討をお願いします。また、マスターには割と経験の浅い若い会員、副マスターには比較的経験の豊かな会員の方をお願いしたいと考えております。前年度に倣い、毎月第一例会はテーブルメンバーごとの着席とし、その他の例会では、基本、自由席としますが、毎回同じメンバー同士が一つのテーブルに固まるようなことは避けて下さい。

例会中は私語や携帯電話の着信音など無いよう注意をお願いします。

例会の他、クラブ協議会やクラブフォーラムなど、最近は出席率が低下していると聞き及びます。積極的に参加するよう努めて下さい。

ビジターテーブルには親睦委員、またメークアップビジターの知人等複数名が着席し、紹介時に歓迎の拍手や接待をお願いします。

会員の皆様には、この創立40周年でもある江森年度を無事に乗り切れますようご協力をお願いして、今年度のSAAの挨拶とさせていただきます。

#### ◆プログラム委員会 委員長 西山 潔



本年度、江森国一会長の下プログラム委員長を仰せつかりました西山です。

委員会の構成メンバーですが、副委員長には大ベテランの鴻義久会員、委員には経験豊富な天野公史会員、吉田隆男会員、また前年度委員長で素晴らしい活躍をされた佐藤勝彦会員の計5名で1年間委員会活動を行って参ります。

卓話は例会時間の半分を費やす大変重要な存在であります。プログラム委員会はロータリーの例会を大変有意義なものにする為に、プログラム構成を考えて行きたいと思っております。

今年度RIのテーマが「世界へのプレゼントになろう」です。例会に出席された会員の皆様に卓話を通じて少しでも何か良いプレゼントが出来ればと考えております。

本年度は創立40周年という節目の年でもあります。特に経験豊富なベテラン会員のお話を伺える機会を多く設けたいと思います。

また、江森会長の運営方針でもあります「みんなでやろうよ、楽しくやろうよ。」の精神に則り、明るく、楽しく、愉快的な例会にしていく所存でございます。また本年度よりロータリーの特別月間が大きく変わることとなりました。特別月間に即した卓話も検討していきたいと思っております。

本年度は委員の皆様方の御協力を賜りながら会長目標の達成に邁進したいと考えております。

最後になりましたが、今年一年間会員皆様方の御指導、御協力をお願い致します。

#### ◆広報・IT委員会 委員長 金森 欣一



今年度の広報・IT委員会の委員長を仰せつかりました金森欣一です。

今年度は、我がクラブが創立40周年を迎えますので、クラブの奉仕活動や40周年記念事業などを積極的にプレスリリースしていきたいと考えております。

- ①ホームページをより見やすく、よりアクセスしやすくしてまいります。また有効な活用方法も模索してみたいと思います。
- ②新しい会員のイニシエーションスピーチは聴くことができますが、諸先輩の過去のイニシエーションスピーチは聴くことができません。過去の会報に載ったスピーチをまとめてみるということを考えてみたいと思います。
- ③ロータリー情報・研修委員会とも連絡を密にして、ロータリーの活動や取り組んでいるテーマを広く伝えてまいります。
- ④マスメディアとの関係の構築を試みてみます。

つきましては会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

## 2014-15 年度R青少年交換学生 マンスリーレポート

Monthly Report / JUN 2015

Kazune Ito

7月に入り、日本ではジメジメした夏が始まったのではないのでしょうか。遅れて梅雨がやってきたみたいなお話も耳にしましたが、いかがお過ごしでしょうか。

エクアドルはいつも通り、春の気候が続き、残り少なくなった日々をのんびりと過ごしていますが、今月は海側のコスタ地域に行く機会があり、日本の夏を思い出しました。

学校が夏休みに入り、先月から留学生が少しずつ帰国を始め、今月はほとんどの留学生が帰国してしまいました。

自分が住んでいるところから、空港までは1時間ぐらいなので、ひとりひとりのお別れに付き添い最後まで時間を共有しました。

帰国日前の過ごし方として、もちろんエクアドルのお別れパーティはみんなで遅くまで踊って楽しむスタイルなので、何日か連続でパーティがあり、存分に楽しめましたが、かなり疲れました。

自分はこの1年間で世界中に友達がたくさんでき、一緒にエクアドル生活を楽しんでいく中で、心からの友達になれました。将来、時間とお金があるときに、ヨーロッパやアメリカを旅して、留学生のみんなに再会しに行きますが、やはりそれまで会えないと思うとみんなとの別れは辛いものです。

今月行った日本と関係のあることについて、少し書きたいと思います。

日本で生活していて、エクアドルの文化や生産品に触れる機会はほとんどないと思いますが、エクアドルの世界に誇る生産品として、バナナがあります。そのため、エクアドルのコスタと呼ばれる海側の地域の景色は日本の東北地方の田園のようにバナナ畑が一面に広がっています。自分はそのような景色を見てから、エクアドルで有名なバナナの農園を見ないで日本に帰ることはできないと思っていましたし、田辺農園というエクアドルでバナナをつくる日本企業を本などでみたことがあり、バナナ農園でどのような工夫が施されているのかなどとても興味をもっていました

そして今月ついに縁あって、日本人学校でお知り合いになった田辺農園で働く方とメールでコミュニケーションをとりSanto domingo県にある田辺農園日本のバナナ農園に訪問見学させていただきました。早朝のバスで2時間ほどかけて、AFSの栃木からの留学生と一緒に農園まで向かいました。

そして期待通り、バナナについて、日本の企業について、そしてエクアドルの商品について色々な知識を得ることができました。

田辺農園がどのようなバナナ農園か少し説明すると、305ヘクタールほどもあるバナナ農園で、大きさはディズニーランド8個分もあるのだそうです。生産されるバナナは100パーセント日本に輸出され、ローソンやイトーヨーカドーのスーパーなどでプレミアムバナナとして1本売りされています。

エクアドルがバナナで有名な理由は、エクアドルの気候がバナナを作るのにとても適していて、フィリピンなどのバナナに比べて少しサイズが大きくなり、甘味も他のバナナよりあるのだそうです。それに加えて田辺農園では、土を作るために色々な菌を混ぜ合わせたものをぼかししたり、ミミズで肥料を作ったりと、有機農業を徹底して質の良く、環境にも良いバナナを作っているということが分かりました。

今回の訪問で自分が学んだ大きなことは、エクアドルの生産品は量ではなく、質の良さで他の世界の生産品と勝負していけるということです。日本へエクアドルから何かしらの特産品をもってきてビジネスすることを考えると、やはりアジアの国々に比べて距離が遠く、それほど、運搬などでお金がかかり必然的に高くなってしまいます。しかし、質の良さという付加価値があればプレミアがつけられ、それで買う人が現れてくると思います。質の良い生産品を作るということは、品質管理などのシステムがしっかりしている日本企業の特徴だと思うので、自分の将来でそのようなことを行う機会があれば今回学んだことをしっかり覚えて活かしたいと思います。

その他の日本に関係することとして、去年日本にエクアドルから来ていたダニエラが住むMantaへ旅行しに行きました。Mantaはコスタ地域に位置し、マグロの水揚げ量で有名な港町です。ダニエラの家族と新鮮な魚介を楽しんだり、町を観光したり、毎日ビーチに行ったりと、日本の真夏のような蒸し暑い気候の中でのんびりと過ごしました。

そのような日々の中で、偶然縁あって、マンタのロータリーアンとしてエクアドルに長い間在住されていた井上さんという方が、マンタに日本からいらっしゃっていたので、この機会にお会いできないものかと、キトにいる間にコミュニケーションをとって、マンタでお会いすることができました。

井上さんからは貴重なお話を色々お聞きすることができ、エクアドルに来ることになった経緯や、エクアドルと日本の間で青少年交換プログラムを始めたことについて、また井上さんが行われた数々の日本とエクアドルとの間でのビジネスなどについてもお聞きすることができました。

夜にはマンタにあるMAIDOという日本食レストランにダニエラと一緒に連れて行っていただき、コロッケやとんかつなどの日本食をご馳走になりました。日本食がちょうどかなり恋しくなっていた時だったので、本当に美味しかったですし、そのレストランは日本にあるレストランのように料理人たちの活気があったりと、日本の雰囲気があり自分はとても気に入りました。

店長は日本で留学経験があり、日本語が堪能だったので、金沢文庫などのあたりに住んでいたみたいなお話を聞いて、地元話もとても盛り上がりました。7月にももう一回マンタに行くことを計画しているので、その時にもう一度行きたいと思います。

7月に入り、エクアドルにいられる時間が日に日に短くなっていきます。7月に日本祭りや、スペイン語のテストを受けるため、自分の帰国日は少し遅めの8月3日に設定しました。この1か月、この1年間をよく振り返り、自分が8月まで残る意味をよく考えながら、本当に悔いの残らないように1日1日を過ごしていきたいと思います。

《紙面の都合上、その他の写真につきましては、  
次号にて掲載予定》



留学生とのお別れパーティー



自分は唐揚げを作りました

### 次回〈7月24日〉の卓話予定

テーマ 新年度挨拶

社会奉仕、R情報・研修、R財団、米山、戦略、40周年

## 例会4回

## 6月度出席報告

名譽会員 出席率算出除外会員

会 員	メイクアップ後	ホームクラブ	会 員	メイクアップ後	ホームクラブ	会 員	メイクアップ後	ホームクラブ	会 員	メイクアップ後	ホームクラブ
青柳 紀	100	100	金森 欣一	125	100	友添 辰哉	150	100	吉橋佐千男	0	0
赤堀 和人	100	100	加野 亮一	100	100	長井 章	75	50	我妻 隆邦	25	25
朝日 達夫	125	100	小池 将夫	100	75	中野 真理	100	100	渡邊 淳	125	100
天野 公史	200	100	河野 明光	125	100	中村 真巳	0	0	富居 利貞	25	25
雨宮 和則	0	0	小山 市康	125	100	西山 潔	100	50			
飯田 泰之	100	100	佐藤 勝彦	75	50	古澤 一憲	125	100			
伊澤 政宏	100	100	澁谷 高弘	100	100	保坂 一成	50	50			
石川 正三	75	75	白井 康夫	75	75	茂木 知子	100	50			
伊東 英紀	125	100	白鳥 厚夫	100	100	森永 健	125	100			
岩澤 利雄	100	100	須永 久一	50	50	矢野 修二	100	75			
植田 清司	150	100	田口健太郎	125	100	山本 幹夫	100	100			
梅崎 興生	100	100	竹山 洋	100	75	山崎 善也	100	100			
江森 国一	125	100	但野真実子	75	75	山田 正憲	300	100			
鴻 義久	75	50	田中龍太郎	125	100	山本 登	100	50			
大橋 秀行	0	0	田邊 正彦	75	50	山本 芳弘	125	100			
岡部雄一郎	100	100	月山 勇	100	100	横溝 亘	125	100			
加藤 仁昭	100	100	角田 伯雄	125	75	吉田 隆男	75	75			

月平均 92.43%